

平成30年度原子力防災訓練の検証結果と対応（概要）

《訓練（10/12）の主な検証結果と対応》

	検証結果	対応（31年度当初予算計上等）
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報収集において有効性が確認されたドローンの運用について、訓練を継続し、さらに実効性の向上を図る必要がある。 ・ また、ドローンの活用について、情報収集のみならず、更なる有効活用を検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドローンによる情報収集体制について、運用職員への研修やJAXAとの連携を深化させ、実効性の向上を図るとともに、原子力災害対策重点区域において、ドローンを活用した複合災害への対応力の強化を図るため、ドローンによる物資搬送等の実証実験を行う。 <p style="text-align: right;">（原子力防災ドローンオペレーション強化事業費【新規】）</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害対策本部要員の対応能力向上のための訓練を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災関係機関との連携や迅速な被災状況の把握、住民への情報伝達等、初動対応に特化したより実践的な訓練を実施する。 <p style="text-align: right;">（原子力防災初動対応力強化事業費【新規】）</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民アンケートにおいて、災害時の道路状況や避難方法の伝達について不安の声があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車両の離合場所の確保や線形改良等を実施することにより、伊方町内の避難経路の機能向上を図る。 <p style="text-align: right;">（原子力防災避難円滑化モデル実証事業費【継続】）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災行政無線や臨時災害放送局（FM放送）等を活用し、より実践的な初動時の情報伝達訓練を実施する。 <p style="text-align: right;">（原子力防災初動対応力強化事業費【新規】）</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大分県へのテレビ会議システムや映像伝送システムの導入により、より迅速かつ確実な情報共有が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 導入した資機材を活用した訓練を繰り返し、要員の習熟度の向上を図る。 <p style="text-align: right;">（原子力防災広域連携推進強化事業費【継続】）</p>